

平成27年度 事業計画書

2015年4月1日—
—2016年3月31日

公益財団法人
さっぽろ青少年女性活動協会

目 次

I	平成 27 年度 財団経営方針	1
II	経営理念	2
III	基本方針	
IV	事業計画策定の基本方針	
	1 既存事業の強化と新規事業の開発	
	2 自主公益事業の拡充と滝野自然学園の積極活用	
	3 組織の効率化に向けた事業実施体制等の再設計	
	4 人材の育成とガバナンスの強化	
	5 収支コストの最適化	
V	平成 27 年度 事業概要	4
	1 青少年の健全育成と社会参加に関する事業	
	2 社会教育の推進に関する事業	
	3 市民活動の振興に関する事業	
	4 その他法人の目的を達成するために必要な事業	
VI	部門別事業計画書	10
	1 こども育成課・児童会館管理課（児童会館・ミニ児童会館）〈10-11〉	
	2 こども劇場課（やまびこ座・こぐま座）〈12-13〉	
	3 企画事業課（若者支援施設）〈14-17〉	
	4 企画事業課（滝野自然学園事業・イベント事業）〈18-21〉	
	5 野外活動課（北方自然教育園・定山溪自然の村・青少年山の家）〈22-27〉	
	6 市民参画課（札幌エルプラザ公共4施設）〈28-30〉	
VII	施設一覧	31
VIII	平成 27 年度 機構図	32

平成 27 年度 事業計画

I 財団経営方針

公益法人に移行し 3 年目にあたる平成 27 年度は、将来の財団のあり方を考える重要な年度であり、財団経営の観点から、安定と持続可能な財団運営のため、その組織体制作りや経営基盤の強化を早急に行う必要がある。

各種事業においては、これまでの事業実績に安住することなく、既存事業をより一層強化させることは、当財団の強みを明確にして更なる発展を目指すために不可欠となるが、これらの取り組みと併せて、将来的な法人の存在価値のための自主事業の拡充を意識した事業展開も必要となる。

公益法人として求められる信頼や果たすべき責任を職員一人ひとりが実行していくためには、目まぐるしく変化する社会情勢や動向を予測した様々な行動とこれらを支える組織体制の整備、ガバナンスの強化を図ることで、効果的な事業を展開できる経営基盤を確立し、定款に掲げる「目的」の達成に向けた取組みを推し進めていかなければならない。

このような状況のもと、経営理念・経営基本方針に基づき、法人の目的達成のための創造性を発揮するとともに、必要に応じた戦略的投資を含め、効果的な予算編成と創意工夫を凝らした事業計画を策定するものとする。

II 経営理念

「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」

青少年の健全育成と青少年女性の社会参加、地域社会創造のための主体的な活動支援を人とのつながりを通して行うことで、地域社会の発展と向上を図り、豊かな生活の実現に寄与します。

III 基本方針

1. 青少年の健全育成と社会参加の実現に寄与する
2. 市民活動の振興及び社会教育の推進に寄与する
3. 将来を見据えた組織力の強化を図る
4. 自主事業の拡大を図り、自主財源の確保により安定した法人経営を行う
5. 組織の活性化・効率化に向けた改革を行う

IV 事業計画策定の基本方針

1. 既存事業を強化するための戦略的投資
2. 自主公益事業の拡充と滝野自然学園の積極活用
3. 組織体制の整備によるガバナンスの強化
4. 人材の確保と人材育成
5. 経営基盤の強化

IV 事業計画策定の基本方針 《内容》

1. 既存事業を強化するための戦略的投資

社会的環境の変化に適応し、財団が継続して事業活動を行うためには、将来的な法人の存在価値を視野に入れた新規事業の開拓に加え、既存事業の方向性を今一度整理し、必要に応じては革新する必要がある。また、指定管理事業等の複数年度の契約を結んでいる事業にあっては、契約2年度目にあたる平成27年度において、既存事業の強化に繋がる戦略的投資（人材投資及び新規設備投資等）を集中的に実施するなどの取り組みも積極的に検討する必要がある。

新規指定管理期間初年度の収支状況を踏まえ、各課事業においては、既存事業の強化に繋がる戦略的な投資を検討して事業計画を策定すること。

2. 自主公益事業の拡充と滝野自然学園の積極活用

当財団の設立趣意や定款に基づく自主公益事業を各課単位で検討し積極的に展開する。また、平成20年度に取得した滝野自然学園については、引き続き内部事業での有効活用や各種事業の対象年代を広げる等の工夫を行い、本施設の利用価値を高めることにより、利便性の向上やさらなる利用の増加に繋がる事業計画を策定すること。

3. 組織体制の整備によるガバナンスの強化

公益財団法人として必要な「社会からの信頼」を維持するための各種取り組みとして、コンプライアンス等の研修を通じて職員の意識改革を行う。また、リスクマネジメントの観点からガバナンスの強化を最重要課題の一つと認識し、様々な出来事に対して迅速かつ的確に対処することが出来る組織体制の整備に向けた検討を速やかに行い、ガバナンスの強化に繋がる行動を盛り込んだ事業計画を策定すること。

4. 人材の確保と人材育成

職員の採用から人事異動、研修、評価、処遇等の各種制度を引き続き検証し、最適な制度に見直し、当財団に相応しい人材を育成する仕組みを整備する。

有能な人材を採用するための方法を再検証するとともに、組織のパフォーマンス向上に繋がる「人材育成」の具体的な方策を含めた事業計画を策定すること。

5. 経営基盤の強化

公益財団法人として適切な事業運営を行い、継続的な事業展開のため、事業単位ごとの収支状況を適宜把握しながら、各種制度変更にも速やかにかつ柔軟に対応できる安定的な財団運営を行うため、経営基盤の更なる強化に取り組むこととする。

V 平成 27 年度 事業概要

1. 青少年の健全育成と社会参加に関する事業

(1) こども育成事業

ア 児童会館及びミニ児童会館事業

【主な事業】

- ・ 青少年活動支援事業
児童クラブ、子育てサロン、障がいのある児童の受け入れなど
- ・ 体験機会創出事業
講習会、発表会、鑑賞会、社会奉仕活動、交流活動など
- ・ 学習支援事業
さっぽろまなびのサポート事業
- ・ 人材育成事業
インターンシップ、リーダー育成事業
子ども運営委員会、児童会館実習指導など
- ・ 施設管理運営事業
児童会館の管理運営、近隣住民への貸室事業



イ こども劇場事業

【主な事業】

- ・ 人材育成事業
各種講座、講習会、市民劇団育成事業、人形浄瑠璃関連事業、
インターンシップ・実習等の受入れ、市民ボランティア ほか
- ・ 体験機会創出事業
小学校アウトリーチ事業、読み語りの会、こども舞台体験プログラム、
砂川人形劇創作体験プログラム ほか
- ・ 地域連携事業
こども人形劇舞台祭典、やまびこ座夏祭り
中島児童会館との連携事業
- ・ 施設管理運営事業
こども劇場の管理運営、貸室事業



(2) 若者支援事業
ア 若者支援施設事業

【主な事業】

- ・ 自立支援事業
自立支援プログラム
就労支援トレーニングプログラム
家族会 ほか
- ・ 受託事業
地域若者サポートステーション
中卒者等進路支援事業
- ・ 体験機会創出事業
社会体験機会の獲得事業
ボランティア・地域活動への参加事業
- ・ 人材育成事業
インターンシップ・実習等の受入れ
地域若者サポーターの育成
- ・ 地域連携事業
さっぽろ子ども・若者支援地域協議会
若者団体ネットワークの構築等事業
地域活動ネットワーク構築等事業
- ・ 調査研究事業
社会的自立に関する調査研究
社会参加・交流促進に関する調査
- ・ 施設管理運営事業
若者支援総合センター
若者活動センターの管理運営、貸室等



2. 社会教育の推進に関する事業

(1) 自然体験活動事業

ア 滝野自然学園事業

【主な事業】

- ・ 体験機会創出事業
自然体験活動事業（年代別各種キャンプ事業）
- ・ 職員派遣事業
専門学校、幼稚園、保育園などへの職員講師派遣
自然体験活動、レクリエーション、リーダー育成などの講師派遣
- ・ 人材育成事業
インターンシップ・実習等の受入れ、ボランティアスタッフ育成
- ・ 情報発信事業
こども情報紙「あ・そ・ぼ」の発行
- ・ 団体支援事業
こども基金事業（体験活動を行う団体への助成事業など）
- ・ 施設管理運営事業
滝野自然学園の管理運営、貸室等



イ 北方自然教育園事業

【主な事業】

- ・ 体験機会創出事業
農業体験、自然体験学習、教材用生物の提供事業
- ・ 地域連携事業
地域住民と協働した環境保全活動
地域住民の自主的な活動及び交流支援事業
- ・ 学習支援事業
昆虫等標本展示
- ・ 人材育成事業
インターンシップ・実習受入れ
ボランティアスタッフ育成
- ・ 施設管理運営事業
北方自然教育園の管理運営



ウ 定山溪自然の村事業

【主な事業】

- ・ 体験機会創出事業
自然体験活動
交流促進・コミュニケーション事業
- ・ 地域連携事業
運営協議会等の地域ネットワーク活用事業
他団体（観光協会、野外系施設、公的施設等）との連携事業
- ・ 人材育成事業
インターンシップ・実習受入れ
ボランティアスタッフ育成



エ 青少年山の家事業

【主な事業】

- ・ 体験機会創出事業
青少年キャンプ事業
- ・ 人材育成事業
インターンシップ・実習受入れ
ボランティアスタッフ育成
宿泊学習効果の向上のための事前学習
- ・ 団体支援事業
利用団体支援
活動プログラムの開発及び提供



3. 市民活動の振興に関する事業

(1) 市民活動振興事業

札幌エルプラザ公共4施設事業

【主な事業】

- ・活動支援事業
企業家支援
NPO 活動支援
市民活動基金
相談・支援事業
- ・人材育成事業
男女共同参画啓発・ワークショップ等事業
市民活動関連事業（サロン事業、体験プログラム、各種講座など）
環境関連活動事業
インターンシップ・実習受入れ
- ・職員派遣事業
大学、専門学校、初等・中等・高等教育機関などへの職員派遣
- ・地域連携事業
北海道大学環境科学院との各種連携
こどもエコクラブ事務局等
- ・情報発信事業
各種情報誌の発行事業



4. その他法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 収益事業

イベント・物品貸与等事業

【主な事業】

- ・ イベント
受託事業（受託型イベント事業）
企画提案事業（公募型プロポーザル方式事業）
- ・ 物品貸与等事業
活動支援事業（各種物品の貸出事業）



(2) その他の事業

施設管理運営、公益目的外での施設貸与事業

【主な事業】




- ・ 指定管理施設の管理運営事業
札幌エルプラザ公共4施設貸室事業
定山溪自然の村貸室事業
青少年山の家貸室事業
- ・ 指定管理施設の公益目的外での施設貸与事業
こども劇場貸室事業
若者支援施設の貸室事業

VI 部門別事業計画書

こども育成課・児童会館管理課

児童会館・ミニ児童会館

事業方針	子どもが輝く活動拠点を地域とともに目指す。	
重点目標	地域活動等事業	<p>まなびのサポート事業への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習の機会を提供することにより学習習慣を身につける。 ②継続した学習支援をとおして基礎学力の向上を目指す。 ③自らの将来の夢や目標を描き、何事にも興味を持って取り組んでいくための向上を図る。 ④生活困窮者自立支援法の施行により、対象者が広がることで、登録人数も増えることが予想されるため、職員体制を整え取り組む。
	施設運営等事業	<p>【事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境に配慮した取り組み ≪緑のカーテン≫ <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度から実施している事業であり、平成 26 年度は 28 館で実施。 ・電気などのエネルギーに頼らず、自然の恵みを利用した涼の取り方の体験及び、つる植物の作物を収穫し食する体験が食育にもつながる。 ・平成 27 年度も引き続き希望館を募り、多くの会館での実施を目指す。 ②見守りシステム（児童来退館通知システム） <ul style="list-style-type: none"> ・見守りシステムの全児童会館・全ミニ児童会館での運用と児童クラブ保護者向け一斉メール配信システムの構築を目指す。 ・平成 26 年度中に「見守りシステム」に必要なハードウェア環境（専用パソコン・無線 LAN・フェリカカード・フェリカカードリーダー）を整えたことから、試行の第 3 段として全館での運用を 27 年度の夏休み前までに行う。 ・「見守りシステム」を利用した保護者への一斉メール配信機能について、運用に向けての検証とシステムの修正、改善を行い 27 年度のできるだけ早い時期に機能させる。 ・災害時における緊急の「お迎え対応」等、保護者への連絡の徹底と業務効率化を図り、児童クラブの安全管理機能を強化する。 ③災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・大地震や暴風雨（雪）等による災害発生時の対応基準を整備する。 ・札幌市との連携をより強化し、災害発生時の児童受入基準及び、職員の役割分担を確立し、利用者の安全を最優先に考えると共に、職員の一人一人が危機管理意識を高め、施設の安全確保に努める。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ①グループワーク／クラブ活動を生かして、世代間交流または地域交流事業を年間 1 回以上実施。 ②ケースワーク／中高生企画事業を年間 1 回以上実施。 ③コミュニティワーク／年間 1 回以上「地域公開日」を実施。 	

事業内容	時期・回数
<p>1 青少年活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 子育てサロン事業 ▪ 放課後児童クラブ事業 ▪ 障がいのある児童の受け入れ ▪ 中・高校生夜間利用等運営事業 ▪ 放課後子ども館事業 <p>2 体験機会創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 講習会・発表会（各種発表会等事業） ▪ 観賞会（人形劇・演劇鑑賞等） ▪ 社会奉仕活動（清掃活動、施設訪問、防犯・防火活動等） ▪ 環境活動（ごみゼロ大作戦事業、プルタブ大作戦事業） ▪ 交流活動（地域交流、お泊まり会、合同行事等） ▪ 季節事業（歳時的事業、おまつり等） ▪ 野外・自然体験活動事業（キャンプ事業、畑づくり、遠足等） ▪ 伝統芸能活動事業（伝承あそび、生け花、茶道、将棋、華道等） ▪ 体力増進・スポーツ事業（日常あそび、外あそび、サッカー等） ▪ 創作活動事業・読書活動の推進・図書環境整備事業 ▪ スノー&アイスキャンドル大作戦事業 ▪ 周年事業（10周年：西白石小ミニ、南郷小ミニ、中沼小ミニ、平岸小ミニ、屯田北／20周年：あいの里、北栄、美しが丘、八軒北、新発寒／30周年：宮の森、太平、平岡、発寒北、桑園／40周年：菊水やよい／50周年：豊平、手稲東） <p>3 学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 学習活動事業（学習レシピの活用等） ▪ まなびのサポート事業「遊學舎 まなべえ」 <p>4 人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ リーダー育成事業・子ども運営委員会・実習等受入事業・児童会館実習指導業務 <p>5 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 児童会館の管理運営、貸室事業、危機管理事業 	<p>※実施時期・回数については各会館によって異なるため省略。</p>   



<p>事業方針</p>	<p>平成 27 年度は、3 期目の指定管理期間の 2 年目となる。こどもの劇場という文化施設の創造拠点としての役割をさらに明確化し、新たな可能性を拓げていける施設づくりを目指していく。劇場事業の根幹である人材育成を柱に、より優れた児童文化の発信、劇場のノウハウを生かした地域への積極的な文化支援を行っていく。市民や関係機関、他団体との協力体制をより強化し、効率的かつ効果的な事業展開を目指し成果へとつなげる。</p>				
<p>重点目標</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="309 680 386 909"> <p>地域活動等事業</p> </td> <td data-bbox="386 680 1388 909"> <p>①地域社会における文化的役割と意義 全国でも数少ない公立の児童文化施設としての役割を明確にし、札幌はもとより北海道、さらには全国に向けて児童文化の普及発展、文化芸術の持つ力を最大限に生かした拡がりある事業を展開していけるよう、関係機関と連携していく。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="309 909 386 1630"> <p>施設運営等事業</p> </td> <td data-bbox="386 909 1388 1630"> <p>①人材育成と創造型の劇場運営 人材育成を柱に創造型事業へ発展させ、より拡がりのある事業展開を行う。多くの市民が児童文化に触れる機会を提供できるよう地域に根ざした活動を行う。</p> <p>②利用者の目線での施設運営 市民サービスに対する意識を高め、職員と利用者がよりよい関係を築けるような対応に努める。子どものための文化施設を意識した環境整備をはじめ、利用者にとって利用しやすく親切的施設づくりを目指す。また、職員研修を計画的に実施し、職員の専門的知識と技術を高め、資質の向上に努める。</p> <p>③児童文化の発信基地及び文化施設としての役割の明確化 人形劇、児童劇等の制作団体との協働により、より良い作品を創造し、市民に提供していくことで、児童文化の普及・促進を図る。さらに、地域や他施設へのアウトリーチ活動、劇指導派遣、人形劇普及等に関する積極的な文化支援を行う。また、自ら制作するプロデュース作品を上演可能な状態で保管し、活動団体との協力体制の中、市民の要望に沿った公演企画の実現を目指す。</p> <p>④最小経費で最大効果を 指定管理費だけでなく事業収入や公的助成、民間資金を導入し、バランスのとれた経営を図り、最小の経費で最大の効果を上げるよう効率化に努める。</p> </td> </tr> </table>	<p>地域活動等事業</p>	<p>①地域社会における文化的役割と意義 全国でも数少ない公立の児童文化施設としての役割を明確にし、札幌はもとより北海道、さらには全国に向けて児童文化の普及発展、文化芸術の持つ力を最大限に生かした拡がりある事業を展開していけるよう、関係機関と連携していく。</p>	<p>施設運営等事業</p>	<p>①人材育成と創造型の劇場運営 人材育成を柱に創造型事業へ発展させ、より拡がりのある事業展開を行う。多くの市民が児童文化に触れる機会を提供できるよう地域に根ざした活動を行う。</p> <p>②利用者の目線での施設運営 市民サービスに対する意識を高め、職員と利用者がよりよい関係を築けるような対応に努める。子どものための文化施設を意識した環境整備をはじめ、利用者にとって利用しやすく親切的施設づくりを目指す。また、職員研修を計画的に実施し、職員の専門的知識と技術を高め、資質の向上に努める。</p> <p>③児童文化の発信基地及び文化施設としての役割の明確化 人形劇、児童劇等の制作団体との協働により、より良い作品を創造し、市民に提供していくことで、児童文化の普及・促進を図る。さらに、地域や他施設へのアウトリーチ活動、劇指導派遣、人形劇普及等に関する積極的な文化支援を行う。また、自ら制作するプロデュース作品を上演可能な状態で保管し、活動団体との協力体制の中、市民の要望に沿った公演企画の実現を目指す。</p> <p>④最小経費で最大効果を 指定管理費だけでなく事業収入や公的助成、民間資金を導入し、バランスのとれた経営を図り、最小の経費で最大の効果を上げるよう効率化に努める。</p>
<p>地域活動等事業</p>	<p>①地域社会における文化的役割と意義 全国でも数少ない公立の児童文化施設としての役割を明確にし、札幌はもとより北海道、さらには全国に向けて児童文化の普及発展、文化芸術の持つ力を最大限に生かした拡がりある事業を展開していけるよう、関係機関と連携していく。</p>				
<p>施設運営等事業</p>	<p>①人材育成と創造型の劇場運営 人材育成を柱に創造型事業へ発展させ、より拡がりのある事業展開を行う。多くの市民が児童文化に触れる機会を提供できるよう地域に根ざした活動を行う。</p> <p>②利用者の目線での施設運営 市民サービスに対する意識を高め、職員と利用者がよりよい関係を築けるような対応に努める。子どものための文化施設を意識した環境整備をはじめ、利用者にとって利用しやすく親切的施設づくりを目指す。また、職員研修を計画的に実施し、職員の専門的知識と技術を高め、資質の向上に努める。</p> <p>③児童文化の発信基地及び文化施設としての役割の明確化 人形劇、児童劇等の制作団体との協働により、より良い作品を創造し、市民に提供していくことで、児童文化の普及・促進を図る。さらに、地域や他施設へのアウトリーチ活動、劇指導派遣、人形劇普及等に関する積極的な文化支援を行う。また、自ら制作するプロデュース作品を上演可能な状態で保管し、活動団体との協力体制の中、市民の要望に沿った公演企画の実現を目指す。</p> <p>④最小経費で最大効果を 指定管理費だけでなく事業収入や公的助成、民間資金を導入し、バランスのとれた経営を図り、最小の経費で最大の効果を上げるよう効率化に努める。</p>				
<p>数値目標</p>	<p>(1) やまびこ座・こぐま座共に年間上演日数 120 日、公演数 200 回以上の確保 ■平成 25 年度実績：やまびこ座 134 日、203 回、こぐま座 136 日、225 回</p> <p>(2) 3 団体以上の新規人形劇団の誕生、育成 ■平成 25 年度実績：3 団体</p> <p>(3) 年間利用者数、やまびこ座 55,000 人、こぐま座 15,000 人の確保 ■平成 25 年度実績：やまびこ座 56,307 人、こぐま座 15,835 人</p> <p>(4) 利用者アンケートの総合満足度 85%以上 ■平成 25 年度実績：88%</p>				

事業内容	時期・回数
<p>1 人材育成事業(一般対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者のための人形劇講座、経験者のための人形劇講座 ・東区市民劇団育成事業 ・人形浄瑠璃講習会 ・義太夫講習会 ・手作り絵本講習会、腹話術初心者入門講座 ・指導派遣事業 砂川人形劇創作体験プログラム ・舞台照明講座、短期特別講習会、劇団育成支援事業 	<p>4～7月 13回／5～10月 10回 5～10月 25回 6～12月 16回 5～12月 15回 8月 1回／10月 3回 9～3月 20回 通年随時</p>
<p>2 人材育成事業(子ども対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第23期やまびこ座遊劇舎 ・第13期 劇☆やまびこ座 YOUTH ・ざ・にんぎょうじょうりゅうリユースクラス ・義太夫講習会 ・こぐま座こども人形劇団 ・パペットユースクール ・こども舞台体験プログラム「ふれアート」 	<p>5～12月 35回 6～1月 31回 6～12月 20回 5～12月 15回 5～3月 40回 6～1月 30回 8月、10月、1月 3回</p>
<p>3 体験機会創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元町北小学校アウトリーチ事業 ・読み語りの会 	<p>6～12月 通年(毎週水曜日)</p>
<p>4 地域連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015 やまびこ座夏まつり ・さっぽろアートステージ(シアターゴラウンド2015) ・中島児童会館協働事業 (①開館記念祭／②あそびの劇場／③読み語り入門講座) 	<p>8月 2日間 11月、12月 ①7月／②1月 ③11～12月 7回</p>
<p>5. 公演事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の特別公演 ・やまびこ座プロデュース公演 ・プロデュース人形劇『北海道の人形劇シリーズ Part. 2』 ・第44回札幌人形劇祭 ・共催公演・依頼公演 	<p>7月、8月 11～3月 30回 6～1月 40回 11月 3日間 通年随時</p>
<p>6. その他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続被災地支援活動(チャリティー公演、福島支援人形劇等) ・人形劇スタンプラリー、物品販売事業、事業サポーター制度 ・こどもの劇場通信 ・市民ボランティア「やまびこ座たのしませ隊」 ・やまびこ座『現代人形劇&人形浄瑠璃』スロベニア交流公演 ・みんなで描こう～未来のじぶん～ 	<p>5～1月 通年 年6回発行 通年 8月 7日間 通年</p>
<p>7. 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども劇場の管理運営業務、貸室事業、入場料の徴収 	<p>通年</p>



企画事業課

札幌市若者支援総合センター
札幌市若者活動センター(4施設)

<p>事業方針</p>	<p>「若者支援基本構想」の取り組みは、平成 27 年度が折り返しの 6 年目を迎えることから、指定管理業務計画に基づく基本方針の一層の共通理解を図り、事業目標の達成に向けて、職員一人ひとりが各事業のねらいを深く意識し、企画立案から実施・評価に至るまで、これまで以上に情報の共有化に努めて取り組まなければならない。</p> <p>また、その事業に地域若者サポーターの協力を仰ぎ、若者が積極的に参画できる事業展開を図っていく。そのためにも、より実践的で活力（行動力・創造力など）のある職員（ワーカー）の育成を目指すため、OJT を取り入れた内部研修のレベルアップを図り、積極的に協会内連携を推進していく。</p>				
<p>重点目標</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="338 846 411 1164"> <p>地域活動等事業</p> </td> <td data-bbox="411 846 1398 1164"> <p>「地域若者サポーターとの協同」 各施設における地域若者サポーター（基本構想で定義：利用者 OB や各施設の地域で若者の活動をサポートしていただける方）をこれまで以上に積極的に声かけを行い、協力・連携をしながら事業の企画をしていく。 ※地域若者サポーター登録目標人数 80 人 （内訳：総合 20、アカシア 10、ポプラ 20、豊平 20、宮の沢 10）</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1164 411 1482"> <p>施設運営等事業</p> </td> <td data-bbox="411 1164 1398 1482"> <p>「ロビーでの若者の個別対応」 各施設のロビーは、若者にとって施設を利用する起点となり、各々が活動拠点となる重要な空間であることから、より積極的にロビーワークを中心に若者との関係づくりを進め、若者の居場所としての環境を整えると共に、多様性の若者のニーズの掘り起こしや施設 PR の方策を具体的なプランへと発展させる。</p> </td> </tr> </table>	<p>地域活動等事業</p>	<p>「地域若者サポーターとの協同」 各施設における地域若者サポーター（基本構想で定義：利用者 OB や各施設の地域で若者の活動をサポートしていただける方）をこれまで以上に積極的に声かけを行い、協力・連携をしながら事業の企画をしていく。 ※地域若者サポーター登録目標人数 80 人 （内訳：総合 20、アカシア 10、ポプラ 20、豊平 20、宮の沢 10）</p>	<p>施設運営等事業</p>	<p>「ロビーでの若者の個別対応」 各施設のロビーは、若者にとって施設を利用する起点となり、各々が活動拠点となる重要な空間であることから、より積極的にロビーワークを中心に若者との関係づくりを進め、若者の居場所としての環境を整えると共に、多様性の若者のニーズの掘り起こしや施設 PR の方策を具体的なプランへと発展させる。</p>
<p>地域活動等事業</p>	<p>「地域若者サポーターとの協同」 各施設における地域若者サポーター（基本構想で定義：利用者 OB や各施設の地域で若者の活動をサポートしていただける方）をこれまで以上に積極的に声かけを行い、協力・連携をしながら事業の企画をしていく。 ※地域若者サポーター登録目標人数 80 人 （内訳：総合 20、アカシア 10、ポプラ 20、豊平 20、宮の沢 10）</p>				
<p>施設運営等事業</p>	<p>「ロビーでの若者の個別対応」 各施設のロビーは、若者にとって施設を利用する起点となり、各々が活動拠点となる重要な空間であることから、より積極的にロビーワークを中心に若者との関係づくりを進め、若者の居場所としての環境を整えると共に、多様性の若者のニーズの掘り起こしや施設 PR の方策を具体的なプランへと発展させる。</p>				

(1) 利用証の発行を受けた若者の数

平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
14,350 人以上	13,700 人 (見込)	12,859 人

(2) 若者登録者の延べ利用数

平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
194,500 人以上	191,500 人 (見込)	186,242 人

(3) 自立支援の新規相談登録者数

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
札幌	400 人以上	300 人 (見込)	438 人
岩見沢	120 人以上	90 人 (見込)	※年度途中の受託により比較数値なし

(4) 進路決定及び最適な支援機関につながった困難を有する若者数

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
札幌	280 人以上	280 人 (見込)	251 人
岩見沢	80 人以上	50 人 (見込)	※年度途中の受託により比較数値なし

(5) 登録若者団体数

平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
590 団体以上	540 団体 (見込)	144 団体

(6) 地域活動サポーターと共に企画した事業に参加した若者の延べ人数 (新規)

平成 27 年度 6,000 人以上

事業内容	時期・回数
<p>1 自立支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援相談窓口の開設 総合相談、心理相談 ・ 自立支援プログラム <ul style="list-style-type: none"> (1) 初期支援トレーニングプログラム <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理・手芸／軽運動・コミュニケーション ・ その他・ロビー交流会 (2) 就労支援トレーニングプログラム <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ活動・ワーカーズファーム ・ セミナー・ワーカーズチャレンジ／セミナー・仕事塾 ・ 仕事体験・ジョブトレーニング (3) 若者以外対象事業・家族会 (4) 自立支援事業広報 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出張説明・相談会 ・ 若者自立支援セミナー／視察受入と講師派遣 (5) 自立支援その他事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設活用型訓練 ・ 自立支援プログラムへの協力・連携 他 	<p>通年随時</p> <p>通年 通年随時</p> <p>通年 60回 通年 48回／通年 38回 通年随時</p> <p>通年 12回</p> <p>6月～随時 13回 9月／通年随時</p> <p>通年 通年随時</p>
<p>2 受託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域若者サポートステーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域若者サポートステーションの受託 ・ 情報収集・提供 ホームページ管理 ・ 相談窓口の拡充 継続相談 ・ 相談窓口の広報 パンフレットの発行 (2) 札幌市委託事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌市中卒者等進路支援事業 ・ 札幌市社会体験等創出事業 他 	<p>通年 通年 通年 1回</p> <p>6月より月1回 10回 通年</p>
<p>3 体験機会創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動ネットワーク構築 ・ 社会参加意識の啓発 ボランティア・地域事業への参加 ・ 社会参加促進講座 地域事業への参加講座 (頓宮例祭秋まつり、もちつき交流会、子ども盆踊りへの参加等) ・ 地域若者サポーター座談会 ・ 雪まつり人材育成講座 ・ まち創造スタッフ養成講座 ・ 自立した活動に向けた「団体育成事業」 ・ 地域アプローチ白石 MAP プロジェクト 他 	<p>通年随時 通年随時 通年随時</p> <p>6月、3月 2回 11～2月 11回 通年随時 通年 6～2月 10回</p>
<p>4 人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターンシップ・実習等の受入れ ・ 地域若者サポーターの募集と育成 他 	<p>通年随時 通年随時</p>

事業内容	時期・回数
5 地域連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・さっぽろ子ども・若者支援地域協議会の運営 ・全国若者支援ネットワーク協議会への参画・若者支援活動の全国展開 ・地域実行委員会への参画 	通年 通年随時 随時
6 調査研究事業 <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録時のアンケート実施 ・テーマを決めた調査研究 ・若者を取り巻く環境の調査 	年1回 5月 通年随時 通年
7 交流促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集・提供（情報コーナー設置、ホームページ管理） ・ENGINE-LINK 構築、情報交換会 ・若者舞台芸術祭 Sapporo Mix Art ・若者層を対象としたミニワークショップ事業 ・交流促進講座「新規利用者獲得講座」、「協働企画事業」 ・若者交流相談 ロビー相談・カフェ、コピー・印刷業務 ・交流促進講座（ワークショップ、YOUTH CUP、マイプロデュース、ロビーライブコンサート等のフリースペースの活用） 	通年随時 通年随時／1回 3月 通年随時 通年随時 通年随時 通年随時
8 その他の事業 <ul style="list-style-type: none"> ・職員の専門性の獲得 ・施設の利用促進事業 施設デザイン検討プロジェクト、映像設備セットの貸し出し 	通年随時 通年随時
9 施設管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・若者支援総合センター、若者活動センターの管理業務 ・若者施設貸室事業、物品貸出等 	通年 通年



事業方針	<p>(1) 協会所有施設であることの強みを活かし、施設及び周辺フィールドを活用した特色ある自然体験活動事業を実施し、青少年の健全育成の実現を目指す。</p> <p>(2) 野外活動や、自然体験活動の領域で活動する団体と協働の機会を増やし、事業の裾野を広げることを目指す。</p> <p>(3) 施設利用モデルプログラムの提案や、実施した活動プログラムの実践報告などを積極的に行い、協会内部事業での有効活用や、新規利用者の獲得を目指す。</p>															
重点目標	地域活動等事業	<p>【事業】</p> <p>①市民のニーズをとらえたプログラムデザインによる事業実施</p> <p>②協会内の他施設利用者向けのプログラムの開発と実践</p> <p>【管理】</p> <p>①計画的な施設の維持管理</p> <p>②裏山を中心とした活動フィールドの整備</p>														
数値目標	<p><u>施設利用人数（学園事業参加者含む）</u></p> <p style="text-align: center;">目標人数 延べ 5,775人 （昨年度の5%増）</p> <p>■過年度実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年 度</th> <th style="width: 40%;">利用延べ人数</th> <th style="width: 40%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td style="text-align: center;">5,500 人</td> <td>※見込み人数</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td style="text-align: center;">4,783 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成 24 年度</td> <td style="text-align: center;">5,171 人</td> <td rowspan="2">※福島支援事業実施のため 人数増</td> </tr> <tr> <td>平成 23 年度</td> <td style="text-align: center;">6,966 人</td> </tr> </tbody> </table>		年 度	利用延べ人数	備 考	平成 26 年度	5,500 人	※見込み人数	平成 25 年度	4,783 人		平成 24 年度	5,171 人	※福島支援事業実施のため 人数増	平成 23 年度	6,966 人
年 度	利用延べ人数	備 考														
平成 26 年度	5,500 人	※見込み人数														
平成 25 年度	4,783 人															
平成 24 年度	5,171 人	※福島支援事業実施のため 人数増														
平成 23 年度	6,966 人															

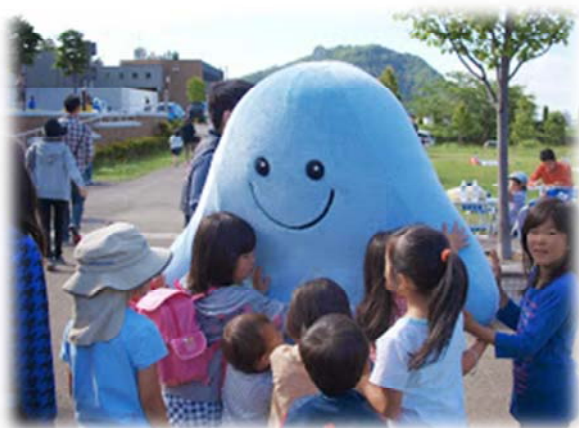
事業内容	時期・回数
1 体験機会創出事業 自然体験活動事業 【幼児対象事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・たきの森のようちえん親子コース ・たきの森のようちえん特別編 【小学生対象事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・たきの森のがっこう（小学1年生～6年生） ・遊習塾リトルキャンプ（小学1年生～3年生） 【親子等対象事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・大人のための自然学校 ・お父さんと過ごす週末キャンプ ・ファミリーカヌーキャンプ 	5月～2月 32回 通年3回程度 5月～2月 9回 3月 通年2回 通年2回 7～8月 1泊 1回
2 職員派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> ・その他の指導業務 	未定
3 人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスタッフ育成事業 ・インターンシップ・実習等の受入れ 	通年随時 通年随時
4 情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・こども情報誌「あそぼ」の発行 ・こども環境情報誌「エコチル」への事業告知記事掲載 ・職員向け広報「きょうかいナウ」 	年6回 年12回 年12回
5 団体支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・こども基金事業 	通年
6 施設管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・滝野自然学園プログラム開発 ・滝野自然学園の管理運営、貸室事業等 	通年 通年



事業方針	<p>地域課題や市民ニーズを整理するなかで「地域社会に貢献する公益財団法人」をめざし、新規事業・クライアントの開拓に加え、方向性の整理、新しい価値の発見を図ることによって既存事業の強化に取り組む。</p> <p>また、併せて財団広報事業を通じて「青少年の健全育成」に有益な情報発信を適時行う。</p>							
重点目標	地域活動等事業	<ul style="list-style-type: none"> ①新規事業・クライアントの開拓 ②「さっぽろ雪まつり」関連事業の方向性の整理と確立 ③当協会保有物品の適正管理とメンテナンスの徹底 (必要に応じた新規備品の購入) 						
数値目標	<p>(1) イベント事業収益総額 4,800 万円以上 【収益性向上】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,000 万円以上</td> <td>5,000 万円 (見込)</td> <td>4,800 万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) コスト管理 各事業実収益率 35%以上の確保 (約 1,680 万円以上) ※「広報事業」にかかる費用は別途</p>		平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	5,000 万円以上	5,000 万円 (見込)	4,800 万円
平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度						
5,000 万円以上	5,000 万円 (見込)	4,800 万円						



事業内容	時期・回数
<p><u>1 受託事業(受託型イベント事業)</u> 民間企業等から依頼を受けた各種イベントの企画運営 ・もいわ山体験学習プログラム（株式会社札幌振興公社） ・ミニさっぽろ（ミニさっぽろ実行委員会） ・雪まつりつどーむ会場制作・運営（株式会社ノヴェロ） ・札幌幼児保育専門学校講師派遣 等 ※前年度実績</p>	<p>通年（未定）</p>
<p><u>2 企画提案事業(公募型プロポーザル方式事業)</u> ・「さっぽろ水道フェスタ」（水道サービス協会） ・「下水道科学館フェスタ」（下水道資源公社） ※前年度実績</p>	<p>通年（未定）</p>
<p><u>3 活動支援事業(各種物品の外部貸出)</u> ・当協会管理施設及び外部への物品貸出</p>	<p>通年（未定）</p>
<p><u>4 自主企画事業</u> ・円山動物園との連携事業（共催事業）「zoo ナイトキャンプ」 ・JICEとの連携事業（共催事業） 等 ※前年度実績</p>	<p>未定</p>
<p><u>5 調査・研究事業</u> ・職員研修、外部研修、各種イベント視察 等</p>	<p>未定</p>



事業方針	<p>指定管理者 2 期 2 年目を迎え、当財団の経営理念である「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」を踏まえ「札幌市北方自然教育園管理業務等仕様書」に基づく事業について確実な遂行に努める。</p> <p>自然環境と地域住民が密接に関わってきた歴史をもつ南区白川の地域環境を活用し、農作物、動植物、博物、食育、歴史、環境社会などについて、幅広く学習機会を提供していく。</p> <p>地域住民との関わり及び市民ボランティア事業における人材育成、事業協力者等の多様な市民力をいかした事業を展開し、地域社会との積極的な関わりや人材育成の拡充に向け推進していく。</p>												
重点目標	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="344 781 408 994" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域活動等事業</td> <td data-bbox="414 781 1398 994"> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域と協働した事業の実施 ② 市民ボランティア活動の一環として自然素材を活用した提供事業の実施 ③ 人間生活に密接に関わってきた地域環境社会を伝える機会 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="344 1003 408 1382" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施設運営等事業</td> <td data-bbox="414 1003 1398 1382"> <ul style="list-style-type: none"> ① 施設内及び園内の安全管理の徹底 (倒木処理、作業後の農機具撤収確認、危険昆虫・動物等野生生物からの防除等) ② 自然環境情報及び施設 PR (貸室利用拡大) のため、ブログ等による情報発信 ③ 施設内外における情報提供を充実し、学習館入館(観覧)の利用増を図る ④ 市民ボランティア及び事業協力者と協働した事業展開 ⑤ 冬期来園者に向けた事業プログラムの開発 (屋内・屋外の利点を活用した事業プログラム及び冬期のフィールド活用) ⑥ 部内各施設(青少年山の家、定山溪自然の村)との連携による人材育成 </td> </tr> </table>	地域活動等事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域と協働した事業の実施 ② 市民ボランティア活動の一環として自然素材を活用した提供事業の実施 ③ 人間生活に密接に関わってきた地域環境社会を伝える機会 	施設運営等事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設内及び園内の安全管理の徹底 (倒木処理、作業後の農機具撤収確認、危険昆虫・動物等野生生物からの防除等) ② 自然環境情報及び施設 PR (貸室利用拡大) のため、ブログ等による情報発信 ③ 施設内外における情報提供を充実し、学習館入館(観覧)の利用増を図る ④ 市民ボランティア及び事業協力者と協働した事業展開 ⑤ 冬期来園者に向けた事業プログラムの開発 (屋内・屋外の利点を活用した事業プログラム及び冬期のフィールド活用) ⑥ 部内各施設(青少年山の家、定山溪自然の村)との連携による人材育成 								
地域活動等事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域と協働した事業の実施 ② 市民ボランティア活動の一環として自然素材を活用した提供事業の実施 ③ 人間生活に密接に関わってきた地域環境社会を伝える機会 												
施設運営等事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設内及び園内の安全管理の徹底 (倒木処理、作業後の農機具撤収確認、危険昆虫・動物等野生生物からの防除等) ② 自然環境情報及び施設 PR (貸室利用拡大) のため、ブログ等による情報発信 ③ 施設内外における情報提供を充実し、学習館入館(観覧)の利用増を図る ④ 市民ボランティア及び事業協力者と協働した事業展開 ⑤ 冬期来園者に向けた事業プログラムの開発 (屋内・屋外の利点を活用した事業プログラム及び冬期のフィールド活用) ⑥ 部内各施設(青少年山の家、定山溪自然の村)との連携による人材育成 												
数値目標	<p>(1) 学習館入館(観覧)者数の増 25%増加</p> <table border="1" data-bbox="472 1489 1311 1601"> <thead> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,300 人</td> <td>3,200 人</td> <td>1,478 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 貸室利用(利用料金等) 45%増加</p> <table border="1" data-bbox="472 1718 1311 1830"> <thead> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30,000 円</td> <td>20,900 円(見込)</td> <td>30,500 円</td> </tr> </tbody> </table>	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	3,300 人	3,200 人	1,478 人	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	30,000 円	20,900 円(見込)	30,500 円
平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度											
3,300 人	3,200 人	1,478 人											
平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度											
30,000 円	20,900 円(見込)	30,500 円											

事業内容	時期・回数
<p>1 体験機会創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験事業（体験農場） ・教材用生物の提供事業 ・自然観察・採集等の学習機会の提供 ・自然体験学習機会の提供（自然体験学習会） ・自然体験・展示に関する情報収集・提供事業 	<p>5月～3月 通年飼育 6月配布 通年（飼育体験：小学校長期休業期間） 全15回 通年</p>
<p>2 地域連携事業</p> <p>(1) 地域住民の自主的な活動及び交流支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然ふれあい事業 ・市民ボランティア事業 ・フォーラム等 	<p>展示10回 自然素材8回 生物2回 通年随時 支援活動30回 7月、2月</p>
<p>3 学習支援事業</p> <p>(1) 自然体験や展示に関する相談業務</p> <p>(2) 自然観察、飼育栽培に関する研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修事業 ・自然ふれあい事業 	<p>通年 8月 2回 展示11回／自然素材9回／生物・博物2回</p>
<p>4 人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体指導事業（指導依頼対応） ・インターンシップ・実習等の受入れ 	<p>通年随時 通年随時</p>
<p>5 その他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報業務 ・物品販売事業 	<p>通年随時 通年随時</p>
<p>6 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方自然教育園の管理運営 	<p>通年</p>



事業方針

指定管理者 3 期 2 年目を迎え、当財団の経営理念である「人とのつながりによる魅力ある未来社会の創造」を踏まえ、「札幌市定山溪自然の村管理業務等仕様書」に基づく事業について確実な遂行に努める。

定山溪地区に位置する施設として「自然・歴史・風土」の様々な資源を有効活用し、地域に根ざした施設運営に努めるとともに、自然体験活動プログラム及び各種野外活動プログラムをとおして、市民が自然に親しみ・理解を深めながら交流や親睦を深めることができる空間を提供する。これまでの管理運営実績を踏まえ、確実な事業実施と施設運営の向上に取り組んでいく。

重点目標

地域活動等事業

- ①多様化する事業ニーズへの対応
(野外活動事業の調査・研究とニーズへの対応及び企画への反映)
- ②自主的活動の充実
(事業趣旨・内容・予算を含めた自主的活動の向上)

施設運営等事業

- ①貸室事業におけるサービスの質的向上
(会員登録の強化、企業協賛事業の推進、施設老朽化に伴う施設の維持管理、衛生管理状態の維持・向上)
- ②初心者のための野外活動支援強化
(キャンプ初心者講習の充実、活動プログラムの提案強化)
- ③市民の企画による自然体験事業支援の推進
(持込支援事業の強化、ボランティアの主体的活動支援強化)
- ④広報活動の積極的な推進及びビジターコーナーの強化
(ホームページ・SNS等の有効活用、野外活動系専門誌へのプロモーション)
- ⑤能力・専門性を高めるための研修強化
(新規事業開発に向けた環境整備)
- ⑥部内各施設(青少年山の家、北方自然教育園)との連携による人材育成

数値目標

(1) 平日の施設利用件数の増加(前年度比 10%増)

平成 27 年度	平成 26 年度
430 件	389 件(見込)

※平日の施設利用：夏季・冬季小学校長期休暇及び祝前日を除いた平日

※達成に向けた取り組み：団体利用者向け活動プログラムの作成と提案活動の強化

(2) ボランティア主体的活動実績の増加

平成 27 年度	平成 26 年度
550 回	450 回(見込)

※達成に向けた取り組み：ボランティアの育成とボランティア企画事業の推進

事業内容	時期・回数
1 体験機会創出事業	
(1) 自然体験活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーキャンプ<初心者キャンプ> 	3回
<ul style="list-style-type: none"> ・初めてのお泊まりキャンプ<親子分離キャンプ> 	1回
<ul style="list-style-type: none"> ・大人のためのプレミアムキャンプ<交流活動・活動提案> 	日帰り・宿泊 各2回
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー自然散策<初心者ハイク> 	8回
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバートレッキング<初心者登山ガイド> 	5回
<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫博士キャンプ<学習支援> 	夏休み1回
<ul style="list-style-type: none"> ・星博士キャンプ<学習支援> 	冬休み1回
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ初心者講習会<野外活動支援> 	通年随時
(2) 交流促進事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・大人のためのプレミアムキャンプ<交流活動・活動提案> 	2回
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーくつろぎ倶楽部<趣味・交流活動> 	2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ようこそ北海道ファミリー<自然体験・交流活動> 	3回
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプファイヤー<相互交流・親睦> 	50回
<ul style="list-style-type: none"> ・フルーツ・スイーツ倶楽部<活動提案・交流> 	9月1回
<ul style="list-style-type: none"> ・親子の自然遊び<子育て支援> 	10回
<ul style="list-style-type: none"> ・こども冒険キャンプ<交流・自然体験> 	1回
2 地域連携事業（関連団体等との協力体制づくり）	他
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携事業、企業協賛事業、公的施設等連携事業、 野外系施設連携事業、観光協会タイアップ事業、教育機関 タイアップ事業 	通年随時
3 人材育成事業（ボランティア育成・活動サポート）	
<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ、森林ガイド 各ボランティア 	通年随時
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア主体事業（森の工作会、森のガイドウォーク 他） 	通年随時
<ul style="list-style-type: none"> ・森もりレンジャー<人材発掘・活用> 	年6回
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援事業（持込支援事業、ボランティア登録 他） 	通年随時
4 情報提供事業（プログラム紹介・団体利用誘致・資料発行等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験プログラムの出前事業、団体利用・事業プロモーション、 会員登録情報提供、ビジターコーナー、プレスリリース 	通年随時
5 プログラム開発・研究事業（事業企画・意見収集等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究事業／広報・情報収集／試行・提案事業 	通年随時
<ul style="list-style-type: none"> ・持込事業支援<会場提供・活動支援> 	通年随時
6 その他事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・活動サポート事業（ハンゴウ体験会、ナイトハイク、暖炉・絵 本の会、焚火を楽しむ会、団体向けサポート事業） 	通年随時
<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験事業（石釜料理体験、ドラム缶風呂体験、わくわくら りー、遊歩道クイズ、アドベンチャーエリア&ミュージアムエリア） 	通年随時
8 施設管理運営事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・定山溪自然の村管理業務、貸室事業、物品貸出等 	通年

<p>事業方針</p>	<p>平成 27 年度は、札幌市青少年山の家を設置目的及び社会的課題への対応を常に念頭におきながら、札幌市における野外教育の拠点施設として従来の形にとらわれることなく、時代に即した新しい運営スタイルの確立と、創造的かつ魅力的な施設運営を目指す。</p> <p>また、長期的な視野で新たなプログラム開発を行うと同時に、より効果的な体験活動が実現できるよう地域との連携強化に努め、滝野の地域資源を最大限活用する取り組みを推進する。</p>																
<p>重点目標</p>	<p>施設運営等事業</p> <p>(1) 特色ある事業の実施 平成 26 年度より実施してきた防災サバイバルキャンプをさらに充実させるとともに、同年度に開発したヒグマトランクキットの有効活用、不登校児対策キャンプ事業の実施検討など特色ある事業やプログラムを積極的に展開する。</p> <p>(2) 地域連携の強化 長期的計画のもと、滝野地区の特性を最大限活用した地域連携のプログラム活動の開発を目指す。平成 27 年度はそのための調査期間と位置づけ、地域との関係を再構築するとともに資源の発掘を行う。まずは平成 29 年度をめどに周辺農家と連携し体験活動プログラムの実施を目指す。</p> <p>(3) 部内各施設（定山溪自然の村、北方自然教育園）との連携による人材育成 中長期計画を持って、職員の強化育成を行う。企画力、運営力、技術、表現力、事務能力、専門性の向上などを目的に外部研修、派遣研修、内部研修、実践研修等を計画的に行い、次代を担う職員の育成を目指す。</p> <p>(4) 管理 今まで以上に「安全・安心・環境に配慮した設備の整備」をするとともに、利用中の万が一の災害にも十分耐えうるライフラインの確保に重点を置く。</p>																
<p>数値目標</p>	<p>(1) 施設利用人数の増加 目標利用人数 74,500 人（延べ 69,300 人・下見等 5,200 人の見込）</p> <table border="1" data-bbox="347 1536 1401 1621"> <thead> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>74,500 人</td> <td>69,545 人(見込)</td> <td>61,565 人</td> <td>82,902 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成 25 年度（9/24～12/21 までヒグマ出没により 89 日間休館） ※平成 26 年度（10/27～12/31 まで大規模改修により 66 日休館）</p> <p>(2) 施設利用満足度 80%以上（アンケート調査を実施）</p> <table border="1" data-bbox="347 1751 1401 1836"> <thead> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%以上</td> <td>93.5%(見込)</td> <td>90.7%</td> <td>92.6%</td> </tr> </tbody> </table>	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	74,500 人	69,545 人(見込)	61,565 人	82,902 人	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	80%以上	93.5%(見込)	90.7%	92.6%
平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度														
74,500 人	69,545 人(見込)	61,565 人	82,902 人														
平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度														
80%以上	93.5%(見込)	90.7%	92.6%														

事業内容	時期・回数
<p>1 体験機会創出事業</p> <p>(1) 青少年キャンプ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライキャンプ ・はじめてのスキーキャンプ ・防災サバイバルキャンプ ・不登校児対象事業の調査研究 (26～27年度調査期間／28年度以降本格実施予定) <p>(2) 生涯学習事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察ハイキング ・親子しめ飾り作り体験会 ・冬休み染め物教室 <p>2 人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者ワークショップ ・ボランティアスタッフ活動支援 ・ボランティアスタッフフォローアップ研修会 ・キャンプリーダー研修会 ・学びの支援団体さぽーと事業 <p>3 団体支援事業</p> <p>(1) 活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体支援 ・利用事前説明会 ・利用事前下見会 ・出前授業 <p>(2) 利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校利用抽選会 ・野外教育・施設に関する情報の発信 ・ヒグマトランクキットプログラムの提供 ・活動プログラム集の改訂 <p>4 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年山の家管理業務 ・青少年山の家貸室事業、物品貸出等 	<p>7月 5泊6日 1月 2泊3日 日帰り3回 宿泊2回 通年</p> <p>5・6・9・11・2月 年5回 12月 年1回 1月 年1回</p> <p>3月 1回 通年 通年 年5回程度 日帰り5回 宿泊3回 通年随時</p> <p>通年随時 5・6・7・10月 年4回 6・7・8・1月 年4回 通年 70校程度</p> <p>5月 1回 通年随時 通年 10校程度 通年随時</p> <p>通年 通年</p>

事業方針	まちの活力を高める活動の拠点を旨す。 <場をつくる>ネットワークが生まれるコミュニケーションの場を提供する。 <心を動かす>さまざまな行動への動機となるような刺激を提供する。 <行動への後押し>行動へつながる段階的支援と、チャレンジの機会提供を行う。		
重点目標	地域活動等 事業	①ニーズを捉えた市民サービスを安定的に提供する。	
	施設運営等 事業	①施設管理におけるエネルギー使用量の節減を目指す。 ②札幌市の施策を反映し、将来を見据えた事業展開を行う。	
数値目標	<u>(1) 施設全体管理</u>		
	施設総利用者数 年間 700,000 人		
	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
	700,000 人	670,000 人 (見込)	678,786 人
	<u>(2) 男女共同参画センター</u>		
	男女共同参画の啓発事業の回数		
	平成 27 年度	平成 26 年度	
	65 回	57 回 (見込)	
	<u>(3) 市民活動サポートセンター</u>		
	研修学習事業 (講座) の定員充足率		
平成 27 年度	平成 26 年度		
80%	74% (見込)		
市民活動相談件数			
平成 27 年度	平成 26 年度		
900 件	670 件 (見込)		
<u>(4) 環境プラザ</u>			
環境教育プログラム参加者数 5%増加			
平成 27 年度	平成 26 年度		
5,460 人	5,200 人 (見込)		
<u>(5) 情報センター</u>			
ライブラリーサロン実施団体 20 団体			
平成 27 年度	平成 26 年度		
20 団体	10 団体 (見込)		

事業内容	時期・回数
<p>1 活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く女性のためのキャリア支援事業「コワーキングスペース」 ・女性のためのカフェ起業講座 ・働く女性のためのキャリア支援事業 ・男女共同参画団体支援事業 ・女性のための総合相談 ・女性のための法律相談 ・女性のための仕事の悩み相談 ・男性のための悩み相談 ・健康支援事業 ・環境活動団体の支援 ・環境教育教材の貸出業務 ・スタート支援・インキュベーション事業 <li style="padding-left: 20px;">NPO 法人設立講座・NPO はじめて講座 ・国際交流支援事業 ・ライブラリーサロン「つたえば」 	<p>通年 7～11月 全2回 通年 全54回 通年 通年 192回 通年 35回 通年 48回／受託50回 通年 99回 7月 1回程度 随時 通年 12月・5月、10月 1月 1回程度 通年</p>
<p>2 人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者への男女共同参画啓発事業 ・男性のためのエンパワーメント事業 ・誰もが子育てしやすい環境づくり事業 ・女性に対する暴力をなくすための事業 ・男女共同参画の視点に基づく学習の充実 ・サポーター事業 ・市民活動相談 ・相談員研修 ・子どもボランティア体験プログラム ・さっぽろ子ども記者 ・NPO インターンシップ ・交流カフェ事業 ・市民団体活動フォーラム ・環境プラザこどもエコクラブ ・こどもエコクラブ交流会 ・教育機関への学習支援 ・環境教育リーダー全体会 ・環境保全アドバイザー全体会 ・大学生サポーター事業 ・ESD 促進集会事業 ・教師対象研修 ・情報発信講座 	<p>他 通年 全13回 通年 全4回 通年 全38回 9～11月 全2回 通年 全16回 通年 通年 9月1月 全2回 7月、8月 12月 1回 9～11月 全3回 6～2月 年2回 12月 1回 5～10月 全10回 4～12月 年3回 随時 5～11月 年3回 5月 年1回 通年 年4回 長期休み期間中1回 7～12月 年3回</p>

事業内容	時期・回数
<ul style="list-style-type: none"> ・ホリデーデーリングの登録 ・インフォメーションリテラシー講座 ・ブックトーク ・情報交流事業サロン事業 ・環境プラザオリジナルプログラムの汎用化 	7～10月 通年 6～12月 年3回 10～2月 年5回 年1回
3 職員派遣事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育リーダー派遣制度 ・環境保全アドバイザー派遣制度 ・児童・生徒への学習機会の提供(アウトリーチ事業) ・環境プラザがやってきた(アウトリーチ事業) 	通年 通年 6～10月 年2回 随時 年4回程度
4 地域連携事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・北8条通アマとホップのフラワーロード事業 ・キャンドルナイト事業 ・エルプラまつり ・環境関連施設等連携事業(共催事業/野あそびようちえん) ・こどもエコクラブ札幌事務局機能 ・企業等との連携 	5月 1回 6月1回 9月1回 年4回程度/全6回 通年 通年
5 情報発信事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画情報誌「りぶるさっぽろ」の発行 ・ホームページの管理等インターネット活用事業 ・男女共同参画ワークショップ事業 ・HP「さっぽろまちづくり総合情報ポータル」の管理運営 ・市民活動情報誌「みんなのしみサポ」の発行 ・掲示コーナーの拡充、情報発信サポート事業 ・講師派遣パンフレット・ポスター作成業務 ・図書等整理・貸出業務 ・キャンペーン型情報発信 ・地下歩行空間「市民まちづくり活動情報コーナー」広報事業 ・NPOとの出会い創出事業「マチなか×NPO」 ・情報交換掲示板事業 ・4分野啓発情報提供事業、イベント情報発信事業 	6～2月 年3回 通年随時 通年 全3回程度 通年 5月～2月 年4回 通年 3月 年1回 通年 通年 11月 全1回 通年 通年
6 施設管理運営事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・エルプラザ公共4施設の管理業務 ・エルプラザ公共4施設の貸室事業、物品貸出等 	通年 通年

Ⅶ 施設一覧

(1) 自主運営施設

	施設名	所在地	施設内容
1	滝野自然学園	南区滝野 106 番地	宿泊室、集会室、食堂、 野外炊事場等

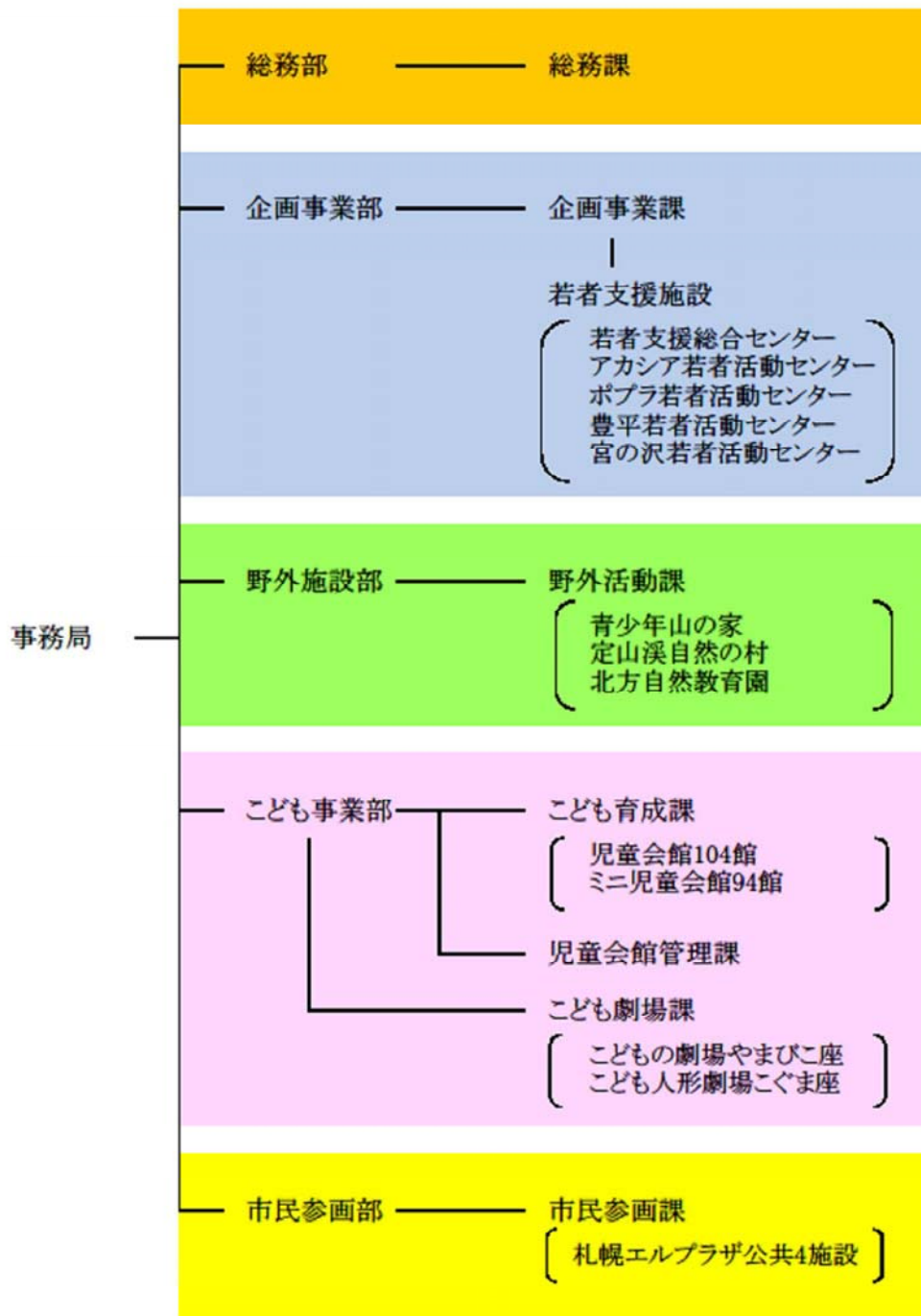
(2) 指定管理施設

	施設名	所在地	施設内容
1	児童会館	札幌市内 104 か所	体育室、プレイルーム等
2	こども人形劇場こぐま座	中央区中島公園 1-1	ホール
3	こども劇場やまびこ座	東区北 27 条東 15 丁目	ホール、工作室、研修室、 会議室
4	若者支援総合センター	中央区南 1 条東 2 丁目	活動室等
5	アカシア若者活動センター	東区北 22 条東 1 丁目	活動室、和室、音楽室 体育室等
6	ポプラ若者活動センター	白石区東札幌 2 条 6 丁目	活動室等
7	豊平若者活動センター	豊平区豊平 8 条 11 丁目	活動室、和室、体育室等
8	宮の沢若者活動センター	西区宮の沢 1 条 1 丁目	活動室、音楽スタジオ、 体育室等
9	札幌市北方自然教育園	南区白川 1814	展示室、工作室、多目的室
10	札幌市定山溪自然の村	南区定山溪	コテージ、テントサイト 野外炊事棟
11	札幌市青少年山の家	南区滝野 247	宿泊室、研修室、多目的ホール 野外炊事場等
12	札幌市男女共同参画 センター	北区北 8 条西 3 丁目	研修室、会議室、料理実習室 託児室、ホール等
13	札幌市市民活動サポート センター	同上	事務ブース、会議コーナー等
14	札幌市環境プラザ	同上	環境研修室
15	札幌市消費者センター	同上	

(3) 受託施設

	施設名	所在地	施設内容
1	札幌市ミニ児童会館	札幌市内 94 か所	小学校内併設

VIII 平成 27 年度 機構図







公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会